

令和7年2月17日

秋田県理容美容専門学校
校長 江島 清彦 様

秋田県理容美容専門学校
学校関係者評価委員会
委員長 畠山 哲

学校関係者評価 報告

秋田県理容美容専門学校、学校関係者評価委員会は令和6年度学校評価に基づく学校関係者評価を実施いたしましたので、ご報告いたします。

記

1. 学校関係者評価委員会 評価委員

畠山 哲	トゥルーヘア（株） 代表取締役
長谷川 浩子	（株）シャトー 代表取締役社長
金野 貴文	（株）CRACE 代表取締役

学校教職員

江島 清彦	秋田県理容美容専門学校 校長
中島 百合子	秋田県理容美容専門学校 教頭

2. 学校関係者評価委員会 開催状況

開催日時	令和7年2月10日(月)	14:00～
開催場所	秋田県理容美容専門学校	2F 美容実習室

3. 学校関係者評価委員会 報告 別紙のとおり

以上

令和6年度の自己評価項目についての報告

(1)教育理念 目標について

- ・ 国家試験合格に向けての取り組みと社会人としての礼儀を伝えてください。
- ・ 保護者等への説明・周知は今の時代とても重要視されているので(子供たちが親の意見に従っているように見える為)しっかり対応していくことが学校の評価に繋がるのではないかな。
- ・ 卒業後のビジョンや将来像を学生がイメージ出来るような取り組み等があるといいのではないかな。

(2)学校運営について

- ・ 秋田県主催の進学相談会が盛り上がり、募集活動がプラスになっていくことを期待します。
- ・ 方針・計画に則った運営で適切になされている。
教職員間での情報・意見共有もされているとの事なので今後さらに良好な運営に繋がっていただきたい。
- ・ しっかりとした組織運営がなされている。

(3)教育活動

- ・ アイブロー資格取得に動くなど、積極的な活動がなされている。それに伴い、教員の研修、学びも頑張っていると感じる。
まつエク・ネイル等も時代に合わせた教育がなされていると感じる。
- ・ 検定に関しては、ジェルネイル・アイブローを任意検定として導入されたことで興味の幅が広がり、そこから学ぶ意欲と技術の向上に繋がっていくと思う。
教員の認識のズレについては、国家試験の内容であればテキストベースにした自校のマニュアルのようなものを作成して、言葉のニュアンスなどの統一をなされるとよいのでは。
- ・ 定められている教科内容と学生がやりたいことのギャップがあると意欲喪失に繋がってしまう。学生が工夫して楽しめるような取り組みがあればよい。

(4)学修成果

- ・ 就職率100%(全て美容関係)は、保護者の方も安心ですね。
実技国家試験、100%合格はすばらしい成果です。
- ・ サロン現場の生の声を聴くことで、自己実現のイメージづくりに繋がっているようで良かった。(フォロー体制にもつながって業界からの離脱を防ぐことになるのでは)
国家試験の勉強がサロン業務でどう活用されるかのイメージがつかないから、意欲欠

如に繋がっているのかもしれないように感じる。カラー剤・パーマ剤などの薬液知識は勿論、昨今重要視されている衛生の部分での活用等も十分に認知させることが必要なのかもしれない。

- ・ 卒業後や就職してから数年後の夢や目標等を具体的にイメージ出来るような取り組みがあれば意欲が湧き、資格取得率の向上や退学率の低減が図れるのではないかな。

(5) 学生支援

- ・ 就職授業や専門業者からの面接指導等は今後も積極的に行ってもらいたい。
中途退学者に関しては残念な結果だが、教員の熱心なカウンセリング等の取り組みや、保護者との連携をしっかりと図っていることは良いことなので今後も継続してください。
- ・ 学生の健康管理の面で、体力作りも兼ねた体育の授業体制はとても良いこと。就職後の体調管理を含め、結果的に仕事に繋がってくる。
- ・ 学生全員が夢や目標に向かって頑張れる様、また、意欲のある学生と意欲のない学生の差が埋まるようなケアが出来ると良いのでは。

(6) 教育環境

- ・ 自主練習できるように放課後、土曜日、長期休暇時に学校が解放されていることはやる気のある学生にとっては有難いこと。韓国での研修は学生の未来にとってとても有益だと感じる。その後の国家試験に向けてのモチベーションにも繋がるのではないかな。
- ・ 海外研修が昨年度から韓国となり、移動時間も少なく、時差もないので学生の体調面でも安心だったのではないかなと感じた。前回も発信したが、今、秋田—台湾便が就航しているからこそ県などにも協力を仰いで台湾での海外研修も視野に入れてみてはどうか。
(東京経由が無い分、時間や交通費の面で負担も軽減できるのではないかな)
- ・ 施設・設備等の環境が整備されていて良い。

(7) 学生の受入れ募集

- ・ 学生間での Instagram のいいね！数をクリスマスイベントとして競い合うのはとても楽しそうで良い企画です。自らの作品などを発信できるのは今後にも活かせると思うし、学生の自信にもなるのでは。
- ・ 学納金の部分で入学の検討を始めるのではないかなと思う。社会情勢的に学納金などの値上げは必須になってくるのは仕方ないが、他校との違い・比較など情報精査をしながら今後の募集に繋げて頂きたい。
- ・ 流行を取り入れながらの取り組みや1・2年生を交えた活動はとても良いと感じる。
中・高校生、在校生、卒業生をうまく絡ませて全員の意欲が高まるような取り組みができればもっと楽しいのではないかな。

(8)財務

- ・ 問題ありません。
- ・ 毎年問題ないので大変安心。
- ・ しっかりと整備されていると感じます。

(9)法令等の遵守

- ・ 問題ありません。
- ・ コンプライアンスについてしっかりされているので今後も継続して頂きたい。
- ・ 法令等の遵守はとても大事なのでしっかり守られていると感じる。

(10)社会貢献・地域貢献

- ・ ハロウィーンパレードも立派な地域貢献です。長期高度人材育成コースは潜在的に考えている対象者がいるのではないかと思います。短期の職業訓練ネイルコースも再開できるとなると良いのでは。
- ・ 社会貢献として中通り商店街とも協力したハロウィーンパレードなどは、メディアでも取り上げられたことで認知貢献にも繋がっている。良かった。
- ・ 学生が「何か人の役に立ちたい。立っている」と感じる取り組みはどんどんやってほしい。

以 上